



ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びや表現遊びを楽しみながら友だちとの交流を深め、会話を豊かにしていく。 ・戸外遊びや散歩を通して、秋の自然に触れて遊ぶ。 ・生活の流れがわかり、毎日繰り返して行う活動については、見通しをもって行動しようとする。 	行事	6、英語 9、秋の健康診断 14、としょくん 15、身体測定 16、避難訓練 24、お楽しみ会リハ 28、誕生日会	家庭連絡 ・気温差があるので長袖、長ズボン、上着などの衣類の用意をお願いする。 ・体調について連絡ノートや口頭で確認する。	自己評価
今月の内容 (養護・教育等)	環境構成	配慮事項	取り組みの状況と保育士の振り返り		
<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化に応じて衣類の調節を行い健康で快適に過ごせるようにする。 ・毎日繰り返して行う活動については、見通しを持って行動する。 ・苦手な物も食べてみようとする。 ・便意や尿意を感じて保育者に知らせトイレで排泄する。 ・ズボンやパンツを足元に下ろして、そのまま排泄をする。 ・順番を待って、排泄・手洗いが出来る。 ・保育者に見守られながら、簡単な身の回りの事を自分でしようとする。 ・保育者と一緒にガラガラうがいをする。 ・友だちや保育者と一緒にごっこ遊びを楽しむ。 ・自分の気持ちや、思いを言葉で伝えようとする。 ・一人一人の思いに共感し、安心して自己主張できるようにする。 ・秋の歌を歌ったり、絵本を読んでもらいいろいろな表現を楽しむ。 ・片付けの合図がかかった時にもとあった場所にしっかりと戻し、片づける。 ・カスタネットやタンバリンなどを使い、音楽に合わせて鳴らして遊ぶ。 ・好きな歌を歌ったりリズムに合わせて体を自由に動かして楽しむ。 ・好きな遊びを見つけて自由に遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化を把握し快適に過ごせるようにする。 ・トイレや手洗い場など狭い割に一齐に使う場所は、安全に使えるよう配慮する。 ・並ぶ場所がわかるようにマークなど印をする。 ・着脱するスペースと、ゆとりある時間を確保する。 ・子どもたちがコップを取りやすいように置いておく。 ・気持ちの切り替えができるように一緒に部屋の外に出るなどスペースを変えてみる。 ・季節にあった絵本や紙芝居を用意する。 ・おもちゃの置き場所をわかりやすく表記して戻しやすいようにする。 ・朝のうちから使う楽器を人数分、用意しておく。 ・自由に体を動かすことのできるように広い空間を作る。 ・子ども達が自分たちで選んでおもちゃを取りだしやすいように準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の様子をよく見て健康状態を把握する。子どもの様子や気温の変化に応じて衣類を調節する。 ・苦手な食べ物がある時は無理強いせず、励ましの声掛けや関わりをして援助していく。 ・排泄後の後始末の仕方をわかりやすく伝える。 ・自分でしようとする姿を見守り、出来ない所は手伝ったりやり方を伝える。出来た時はともに喜び、褒めて意欲や自信へとつなげていく。 ・保育者も一緒にうがいをして手本を見せる。 ・子ども達でイメージを共有して遊んでいるときはそばで見守り子どもたちなりの遊びが広がるように援助する。 ・子どもが言葉で気持ちや思いを伝えようとしているときは、落ち着いて話せるような雰囲気心がける。片付けや活動の切り替えはわかりやすく伝え、次への見通しが持てるような言葉かけをする。 ・楽器の使い方やリズムの取り方など伝えて正しく楽器遊びができるようにする。 ・ダンスの決まりを作らずに子ども達が自由に表現できるようにする。 ・集中して遊ぶことのできる空間を作り、遊びの選択肢が増えるように保育士が遊びと一緒にして伝えていく。 			
時間外保育	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢の友だちとかかわりながら好きな遊びを楽しみ、安心して過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋を移動する際は、オムツなど必要な物を持っていく。(トイレトレーニング中の子の着替え等) ・バスの子の準備をきれなくしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりと過ごせるように静かで落ち着いた雰囲気を心がける。 ・1歳児との関わりが増えてきているのでトラブルがないように見守る。 ・伝達漏れのないように引継ぎをしっかりとる。 		